

## 【泉区】令和7年第2回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和7年6月11日 午後3時55分～午後5時00分
場 所	泉区総合庁舎4階4ABC会議室
出席者	<p>【座長】麓理恵 議員</p> <p>【議員：2人】梶村充 議員、横山勇太朗 議員</p> <p>【泉区：26人】山口区長 金子副区長 瀧澤福祉保健センター長 小畠福祉保健センター担当部長 志熊泉消防署長 ほか関係職員</p>
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和7年度泉区運営方針について</li> <li>2 令和7年度泉区個性ある区づくり推進費の執行計画について</li> <li>3 泉区内における主な局事業箇所について</li> </ol>

	<p>1 令和7年度泉区運営方針について</p> <p>梶村議員：マイナンバーカードについて伺う。制度開始当初の10年前にカードを取得した方の更新時期がきているが、区役所の混雑状況はどうか。</p> <p>平井戸籍課長：泉区においても毎日多くの方がお見えになっているが、お待ちいただく時間は最大でも10分程度で推移している。5年前にカードを取得された方の電子証明書更新のピークは夏頃となる。今後来庁者の増加が予想されるので、二俣川駅の特設センターでも受付できることを周知しつつ、お待たせする事がないようご案内したい。</p> <p>梶村議員：泉区では予約が不要と聞いたが、そうなのか。</p> <p>平井戸籍課長：泉区では電子証明の更新については予約不要でお受けしているが、カードの交換はご予約をいただく必要がある。</p> <p>梶村議員：カード自体も更新が必要なのか。</p> <p>平井戸籍課長：カード取得後10回目の誕生日を迎える方は、カードを交換する必要がある。</p> <p>梶村議員：通知で初めて知る方も多いと思うが、通知以外の方法で周知していないのか。</p> <p>平井戸籍課長：市のホームページでも広報している。カード取得後5回目の誕生日を迎える方には、更新時期の3か月から2か月前までに通知でご案内している。通知で初めて知る方もいらっしゃるが、お問合せいただいた場合には丁寧にご説明させていただく。</p> <p>麓議員：資料中「III 目標に向けた組織運営」の欄に「区民の皆様の信頼に応えます」とある。泉区役所におけるカスタマーハラスメントの対応は年間どの程度あるのか。市役所全体でもカスタマーハラスメントの取組を進めているが、ハラスメントと思われる場合の対応方法も教えてほしい。</p> <p>野村総務課長：昨年度、泉区役所でカスタマーハラスメントに該当するのではないかという案件は3件だった。対応方法だが、まずは窓口では複数職員で対応し、その事案がカスタマーハラスメントに該当する可能性があると所管課長が判断した場合、コンプライアンス担当課である総務課に情報共有、相談し、組織として対応する。カスタマーハラスメントにあたるかどうかについては、市の基準に照らし合わせて判断する。</p> <p>麓議員：職員が我慢しすぎることなく業務にあたることができればと思</p>
--	--

う。

## 2 令和7年度泉区個性ある区づくり推進費の執行計画について

梶村議員：最近は米の値段が上がり、区民の皆様も苦労されていると思う。農に関する取組の紹介もあったが、泉区でも米農家が多いので、タイアップなどの話はないのか。

室町区政推進課長：区内農家との連携という点では、援農ボランティアである「泉区農業応援隊」を通じたサポート等が挙げられるが、そのほかで米農家に限定したやりとりや連携については、現状では実施していない。

梶村議員：上飯田や下飯田周辺では米農家が多く、高齢化が進んでいることや水源などの課題がある。水源については、みどり環境局がポンプ設置などの支援をしている。せっかく区内に残っている水田について、区として農作業の忙しい時期をこどもたちに見てもらうなどの取組をすれば、米に関する理解が深まるのではないか。

室町区政推進課長：田んぼづくりや米づくりについては、地域が行っている活動に、区の職員が参加することもある。また、各学校单位で農家と直接連携する取組を実施していることを承知している。いただいたご意見について、米作りの大切さも踏まえ、区としてもPR等していきたい。

梶村議員：戸塚区役所では屋上に田んぼをつくり、開放している。せっかく泉区には素晴らしい環境があるので、ぜひこどもたちに見せてあげてほしい。

麓議員：先日、キャベツから基準値を超えた農薬が検出されたということだが、返品はあったか。返品するにしても自身が購入したかどうか、あるいは購入したものがそれに該当するかどうかの判断は難しいのではないか。

村上生活衛生課長：本日昼までの時点で、回収の対象としているものについての返品のご相談はないと聞いている。購入店舗にご相談いただければ、返金対応すること。

麓議員：健康への影響はないということだったが、泉区では農をPRしていることもあるので、あまりマイナスのイメージが広がらないような取組も必要ではないかと思う。

災害時の要援護者支援について伺う。これについてはどんどん進め

てほしいと議会でも話しているが、1件を整えるのに大変時間がかかるため、なかなか行政の大きな取組は待てない気持ちがある。今回の資料には、「地域での取組を支援します。」と記載されている。具体的にどういうことなのか、教えてほしい。

野村総務課長：災害時要援護者支援については、日頃から支援をされている専門職が寄り添いながらしていく必要があるが、専門職がついていない方も一定数いらっしゃることから、地域の方々と一緒に計画を整備していかなければならない。支援が円滑に進む方法を検討している段階。

石田高齢・障害支援課長：災害時要援護者支援の取組としては、まず、要援護者の名簿を作成し地域に情報提供している。また、個別避難計画の作成も進めている。こちらの計画については、要介護度のある方や身体障害の等級がある方等を対象に、令和6年度から全区で作成を進めている。個別避難計画はケアマネージャーや計画相談員等福祉の専門職が作成しているため、専門職への支援を行っている。専門職が対応できない方については、ご本人やご家族が作成できるよう支援を行っている。

その他の取組としては、福祉避難所を対象とした連絡会や訓練を実施している。

麓議員：防災対策はやらなければならないことがたくさんあるが、とくに災害時に支援が必要な方については、あらかじめ避難計画がきちんと決まっていればご本人やご家族の安心につながると思う。お一人お一人の対応にはある程度の時間が必要だが、地域でできることを検討していくということなので、期待したい。

昨年度実施した「泉区地域防災拠点同時訓練」を今年も実施するということだが、現時点での参加予定の拠点数と、訓練内容について教えてほしい。

野村総務課長：昨年度の訓練には全22拠点中、14拠点にご参加いただいた。今年度の訓練については、5月末に拠点運営委員会連絡協議会総会でご案内し、現在、参加する拠点を募集している。昨年より早い段階から実施日をお伝えするなど、昨年の参加拠点数を上回ることを目指し、呼びかけている。訓練内容については、昨年度は開設運営訓練と情報受伝達訓練を行った。情報受伝達訓練については、昨年度は主に通信機器の使い方を知ることが主だったが、今年度はさらに踏み込み、実際の災

害時に起こりうる事象のシミュレーションを検討している。

麓議員：内容等について決まつたら教えてもらいたい。

泉区内の未利用地について伺う。区内には、いずみ野駅と泉図書館の間の市有地や、いちょう保育園跡地、また交通局の所管の下飯田駅トンネル上部用地など、活用できる土地が複数ある。まず局で利用方法を検討すると思うが、地域の方のご意見も伺い、区の考え方を取り入れてもらいたい。いずみ野駅前の土地も長い間未活用となっている。駅前の土地でもあり、ぜひ活用を推進してもらいたいと思うが、どうか。

室町区政推進課長：まず、いちょう保育園跡地については、こども青少年局が所有している。これから庁内に利用照会し、活用希望を確認する。区としても、地域の方が求めるものについてご意見を伺い、情報収集しながら局に伝えていきたい。

いずみ野駅近隣の土地も長く庁内照会をかけているが、庁内での活用の意向は出でていない。区としても地域の声を踏まえて案を出していかなければならないと考えている。

下飯田駅のトンネル上部用地については、交通局所管。局で所有している土地が5区画あるが、そのうち駅に近い3つの土地について、今年度中に用途や活用条件を整理し、事業者公募を行うと聞いている。今後、交通局とも意見交換をしていくが、地域が何を求めているかを区としても伝えていきたい。

麓議員：まずは地元の声を聞いてほしい。とくに、いちょう保育園跡地は団地の中の土地のため、他局が活用するのは難しいのではないか。団地の住民の方々がどう使いたいか積極的に案を出していくのがよいと思っているので、よろしくお願ひしたい。

梶村議員：地域交通サポートと空き家対策については、全市的にも課題がある。地域の声を聞き、しっかり取り組んでほしい。

### 3 泉区内における主な局事業箇所について

梶村議員：深谷通信所跡地に、本格的な陸上競技場を設置しようという動きがある。大規模な競技場を設置するとなると、周辺の道路状況に懸念がある。かまくらみち1本だけでは不十分だ。この課題について、環状4号線と深谷通信所跡地を結ぶ計画もある。周辺道路のことも踏まえて取り組んでいく必要があると思うが、区としてどのように考えているか。

山口区長：先日開催された深谷通信所返還対策協議会でも陸上競技場のことが話題に上がった。核となる施設の設置が決まると周辺整備も進むのではないかという点から、区としては好機と捉えている。合わせて環状3号線の整備も急ピッチで進めるよう、道路局に申し入れている。状況を見ながら、要望するところは局に要望しつつ、施設が完成した際には周辺に混乱がないように進めていきたい。

麓議員：資料に掲載のある「新橋地区の交通安全対策」というのは、令和6年度に実施した緑園学園周辺の対策とは異なるのか。

小林泉土木事務所副所長：基本的には、緑園学園で実施したような交通安全対策となる。事故や速度のデータも活用しながら、スクールゾーン協議会のご要望や職員による現地調査結果なども踏まえ、対策が必要だと判断したものについて、土木事務所でできるところはしっかりと対応する。令和7年度中に対策を完了するよう、進めている。

麓議員：本日の新聞に、ゾーン30に指定されたエリアは小学生の死亡事故がなかったというニュースがあった。緑園と違い新橋は古い地域であり、道も複雑で山坂もある。しっかりと対策を進めてもらいたい。

#### 4 その他

特になし。